

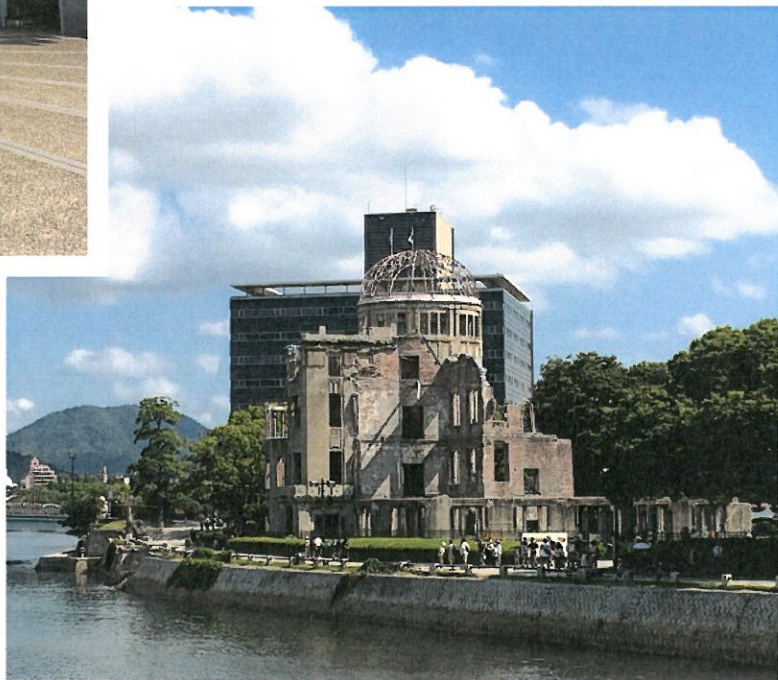
原水爆禁止世界大会

8月4日（金）から9日（水）にかけて「被爆72周年原水爆禁止世界大会（広島大会・長崎大会）」に平書記長・藤原組織対策部長・小林ユースネットワーク幹事が参加してきました。

両大会とも初日に世界大会開会総会、2日目に各種分科会、3日目には原爆投下の時刻に合わせた式典というスケジュールで、神奈川平和運動センターとともに参加し、支部ユースネットワーク作製による折り鶴も平和公園等へ届けてきました。

原爆資料館の見学では、遺品となつてしまった衣類等の展示物には足を止めて見入つてしまい、当時の悲惨さを痛感するとともに惨劇を繰り返してはならないと感じました。

今年の世界大会では、国連本部にて7月に核兵器禁止条約が採択されたことから、歴史的な大会となるはずでしたが、世界で唯一の被爆国である日本政府が不参加といった、これまでの核兵器廃絶にむけた取り組みをも反故にする判断をとったために、参加者からは憤りの声が多数あげられていました。



また、被爆72周年という歳月を鑑みれば、語り部の高齢化も直面する問題となっており、世界大会開会総会での語り部も80歳を迎えようとする方でした。世界の歴史においても重要な被爆体験の風化を防ぐためにも、引き続き伝承させる取り組みを継続させていく必要があると感じました。

私たち参加者ができることは、この体験を職場や家族・友人に伝え、日本から被爆体験の灯を消さない取り組みであると思いますので、この輪を広げていこうと思ひます。貴重な体験に参加させていただきまして、ありがとうございました。

単身赴任者対話交流集会

9月19日（火）小田原工場に勤務する単身赴任者を対象に、対話交流集会を開催しました。

冒頭、下川委員長から挨拶を行い、昨今の政治情勢等を踏まえながら組合の取り組みに対し理解を求めるとともに、組合が組合員の生活を守ることはもとより、印刷局が安定的に存続し続けるために活動していることを述べました。

その後、執行委員の自己紹介を行い、懇親会へと移行しました。途中で実施したレクリエーションでは、参加者を2つにチーム分けし、全印刷の歴史等が学べる4択クイズを実施しました。楽しく勉強しつつ、終始和やかな雰囲気の中での交流を図ることができ、今後の小田原地区での勤務において、組合へ気軽に相談できる環境づくりができたのではないかと思います。

今後においても、各種セミナーを開催し組織内に軸足を向けた取り組みを進めていきますので、ご協力お願いします。



マスつかみ取り&バーベキュー大会

9月23日（土）小田原・足柄地域労働協が主催する「マスつかみ取り&バーベキュー大会」が開催されました。この日は前日から雨も止み、バーベキュー日和のなか多くの家族連れたちが賑わいました。



マスのつかみ取りでは、子供たちがビショビショになりながらも一生懸命にマスを追いかけて、捕まえたマスをその場で塩焼きにしては、おいしそうに頬張る姿が見られました。

バーベキューでは、お肉・野菜・焼きそば等が並び、さらには流しそうめんも振る舞われ、大盛況でした。

今回の会場となった「峯自然園」は、自然に囲まれた施設となっており、深緑のなかで遊んだり食べたりと、大いに楽しめたと思います。

これからも同じ地域で働く仲間とその家族のために、関係団体と連携を図りながらイベント等を開催していきますので、組合員のみなさんはぜひご参加ください。